



2026年3月期 第3四半期 決算説明会

FISCAL YEAR MARCH 2026 THIRD QUARTER FINANCIAL RESULTS



新型 MAZDA CX-5

MAZDA CX-5

2026年2月10日
マツダ株式会社

本日の説明内容

- 決算総括
- 2026年3月期 第3四半期実績
- 2026年3月期 通期見通し
- 今期の振り返り 及び 今後の展望

注：本資料において当期純利益・損失は、親会社株主に帰属する当期純利益・損失を示す

決算総括

決算総括

第3四半期実績

- 第3四半期(3カ月):
 - 計画通りの利益を確保し、黒字へ反転
 - 営業利益308億円/当期純利益306億円/フリー・キャッシュ・フロー黒字化
- 第3四半期累計:
 - グローバル販売台数 92万台
 - 売上高3兆5,015億円/営業損失231億円/当期純損失147億円

通期見通し

- 営業利益500億円/当期純利益200億円の計画、配当予想に変更なし
- 新型MAZDA CX-5 の出荷を本格化

2026年3月期 第3四半期実績

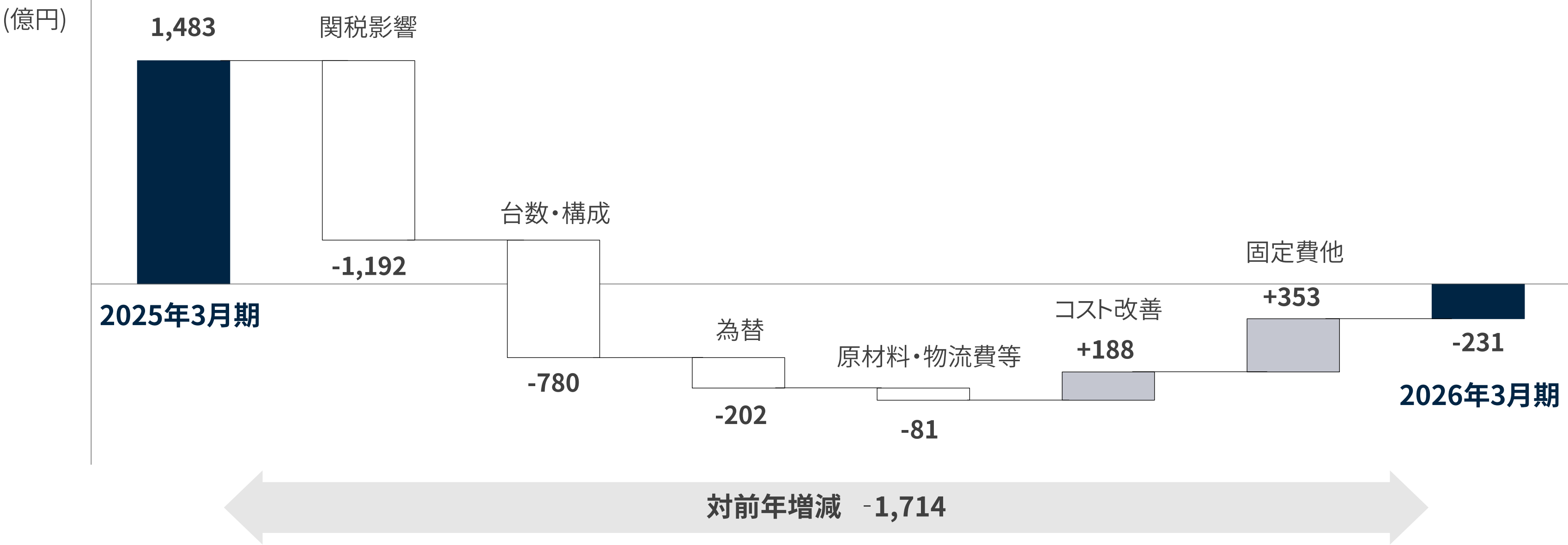
2026年3月期 第3四半期累計 台数実績

(千台)	2025年3月期	2026年3月期			対前年増減	
	第3四半期累計	上期	第3四半期	第3四半期累計	第3四半期累計	
生産台数※	909	555	304	859	-50	-6%
グローバル販売台数						
日本	102	68	32	100	-2	-2%
北米	464	306	141	447	-16	-4%
欧州	130	74	41	114	-15	-12%
中国	58	32	27	59	+1	+1%
その他市場	213	129	71	200	-13	-6%
合計	966	609	311	920	-46	-5%
米国	324	209	91	300	-24	-7%
オーストラリア	72	45	22	67	-5	-7%

2026年3月期 第3四半期累計 財務指標

(億円)	2025年3月期	2026年3月期			対前年増減	
	第3四半期累計	上期	第3四半期	第3四半期累計	第3四半期累計	
連結出荷台数 (千台)	902	543	291	834	-69	-8%
売上高	36,894	22,385	12,630	35,015	-1,879	-5%
営業利益	1,483	-539	308	-231	-1,714	-
経常利益	1,568	-213	587	374	-1,194	-76%
当期純利益	906	-453	306	-147	-1,053	-
売上高営業利益率	4.0 %	-2.4 %	2.4 %	-0.7 %	-4.7 pts	
EPS (円)	143.7	-71.8	48.5	-23.3	-167.0	
フリーキャッシュフロー	731	-1,507	49	-1,458		
為替レート (円)						
USDドル	153	146	154	149	-4	
ユーロ	165	168	179	172	+7	
タイバーツ	4.34	4.47	4.80	4.58	+0.23	
メキシコペソ	8.19	7.67	8.43	7.92	-0.27	

2026年3月期 第3四半期累計 営業利益変動要因(対前年比較)



台数・構成	-780	為替	-202	原材料費・物流費等	-81	コスト改善	+188	固定費他	+353
台数構成・価格	-565	USD	-69	原材料費	-110	ベースCI	+156	研究開発費	-51
販売奨励金	+2	EUR	+103	物流費	+29	構造的原価低減	+32	減価償却費	-13
その他	-217	AUD	-88					品質関連費用	+209
		THB	-74					広告宣伝費	+39
		MXN	0					その他	+169
		その他	-74						

2026年3月期 通期見通し

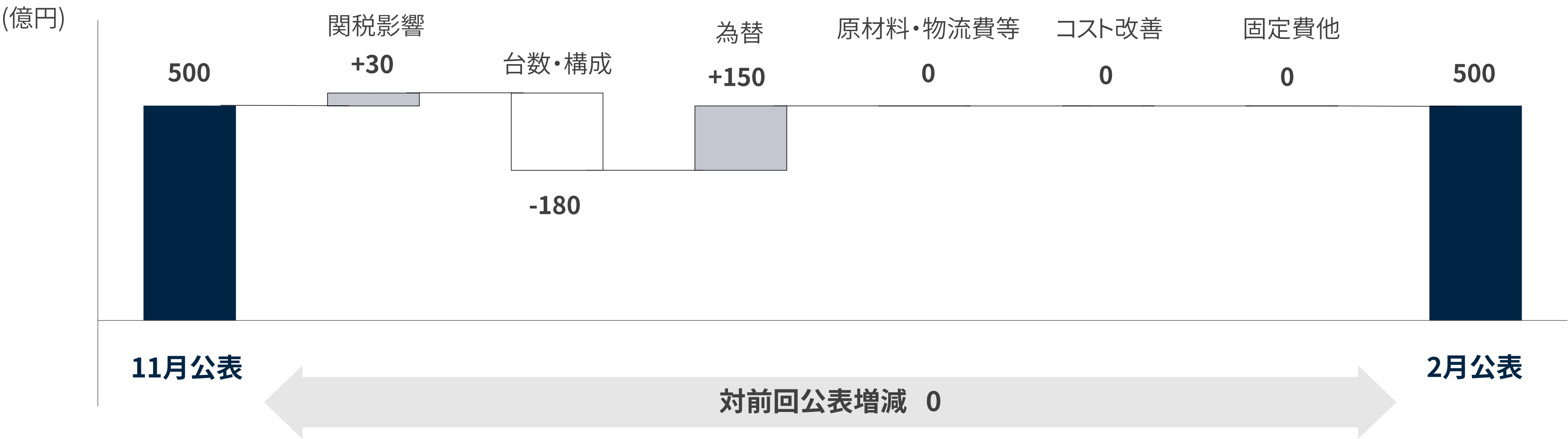
2026年3月期 通期 台数見通し

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期		通期
グローバル販売台数					
日本	152	152	0	0%	-3
北米	617	610	-7	-1%	0
欧州	174	170	-4	-2%	-7
中国	74	76	+2	+2%	0
その他市場	285	272	-13	-5%	-10
合計	1,303	1,280	-23	-2%	-20
米国	435	415	-20	-5%	0
オーストラリア	97	92	-5	-5%	-6

2026年3月期 通期 財務指標

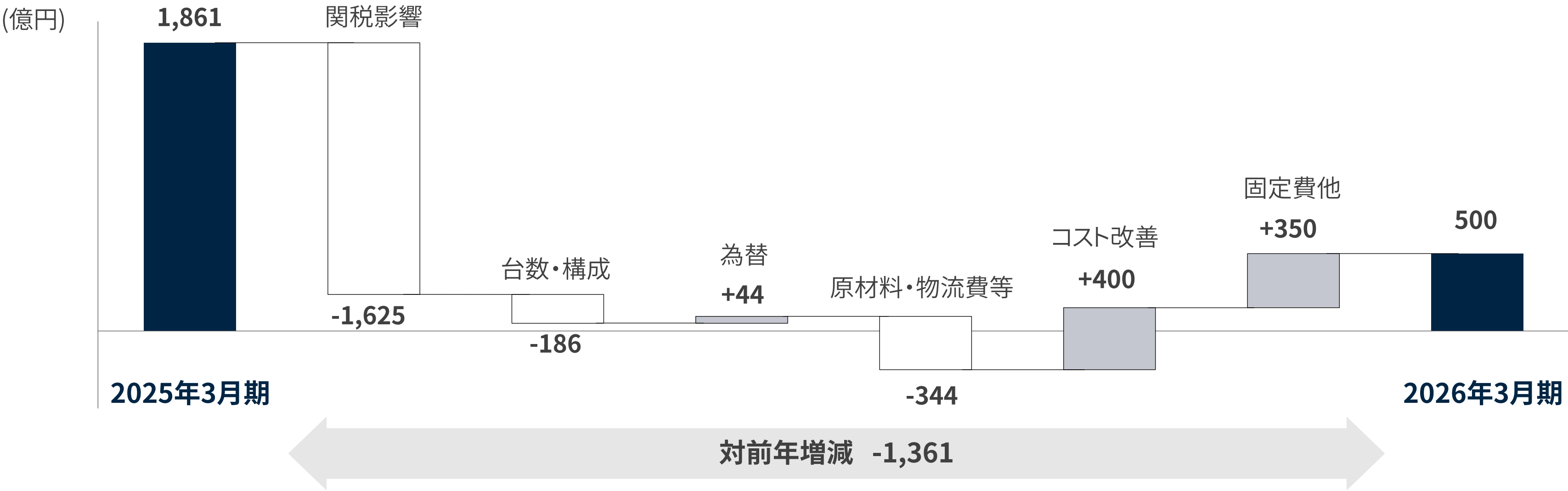
(億円)	2025年3月期	2026年3月期	対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期		通期
連結出荷台数 (千台)	1,219	1,172	-46	-4%	-20
売上高	50,189	48,200	-1,989	-4%	-800
営業利益	1,861	500	-1,361	-73%	0
経常利益	1,890	780	-1,110	-59%	+100
当期純利益	1,141	200	-941	-82%	0
売上高営業利益率	3.7 %	1.0 %	-2.7 pts		0 pts
EPS (円)	181.0	31.7	-149.3		0
為替レート (円)					
USDドル	153	150	-2		+3
ユーロ	164	174	+10		+3
タイバーツ	4.38	4.64	+0.26		+0.10
メキシコペソ	8.02	8.07	+0.05		+0.20

2026年3月期 営業利益変動要因(対11月公表比較)



台数・構成	-180	為替	+150	原材料費・物流費等	0	コスト改善	0	固定費他	0
台数構成・価格	-180	USD	+36	原材料費	-	ベースCI	-	研究開発費	-
販売奨励金	-	EUR	+32	物流費	-	構造的原価低減	-	減価償却費	-
その他	-	AUD	+38					品質関連費用	-
		THB	-28					広告宣伝費	-
		MXN	+31					その他	-
		その他	+41						

2026年3月期 営業利益変動要因(対前年比較)



台数・構成	-186	為替	+44	原材料費・物流費等	-344	コスト改善	+400	固定費他	+350
台数構成・価格	-192	USD	-69	原材料費	-369	ベースCI	+250	研究開発費	+80
販売奨励金	0	EUR	+251	物流費	+25	構造的原価低減	+150	減価償却費	-24
その他	+6	AUD	-58					品質関連費用	+51
		THB	-103					広告宣伝費	+17
		MXN	+40					その他	+226
		その他	-17						

新型MAZDA CX-5

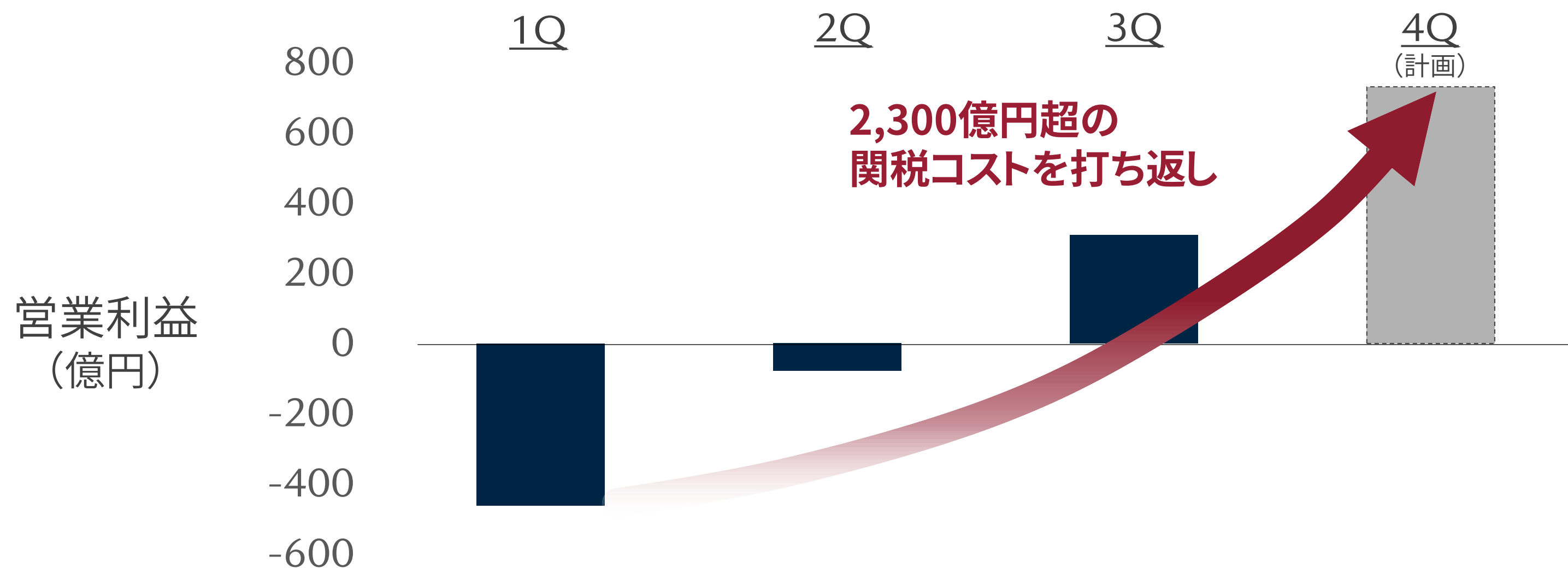
- グローバル販売の4分の1*を占める最量販車種
 - 全面刷新し、デザイン、荷室/居住性、操作性が大きく進化
 - 構造的原価低減の取り組みが進捗
- 第4四半期には、出荷を本格化
 - 導入は着実に進捗。欧州に続き、米国向けを1月に本格生産を開始
日本向けは4月より本格生産開始予定



今期の振り返り 及び 今後の展望

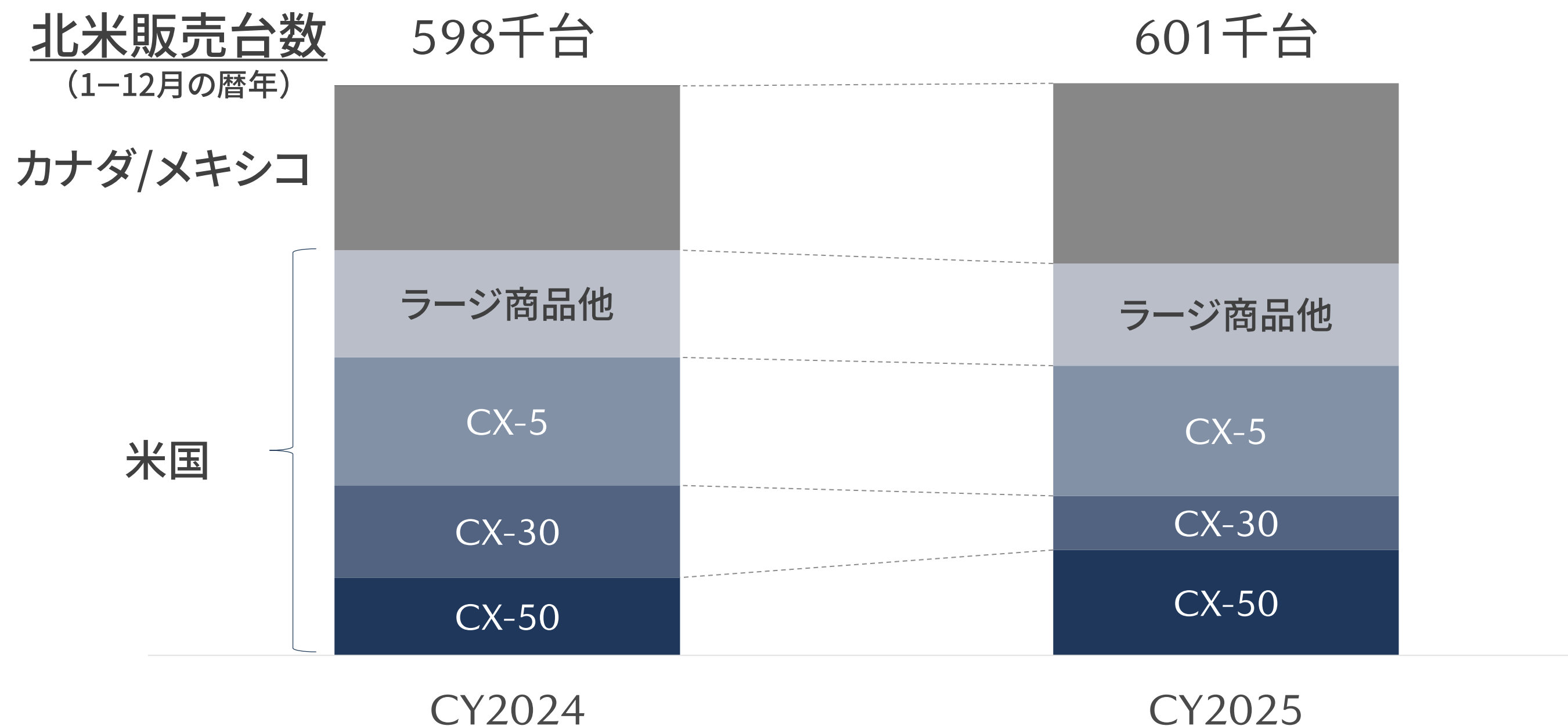
今期の振り返り

- お取引先、販売店、金融機関、行政など関係者との総力により、2,300億円超の関税コスト想定を短期間で黒字転換へ
- 「自らがコントロールできる領域を徹底的に磨き、地域雇用とサプライチェーンを守り抜く」方針を、全社とパートナーで完遂



今期の振り返り 北米市場

- 短期的な台数よりも、収益性と事業の持続性を最優先
- 北米販売は関税影響を大きく受ける中、メキシコから米国向けに一部出荷抑制を行いつつも、前年並みの通期60万台を維持



今期の振り返り

- 欧州収益が貢献：ラージ商品の出荷が伸長し、MAZDA6eの出荷も本格化
新型MAZDA CX-5の事前受注も好調
- ASEAN、オーストラリア：協業バッテリーEVを来期導入し、地域ビジネスへ貢献
- 品質を最優先した新型MAZDA CX-5の導入、第4四半期から本格出荷



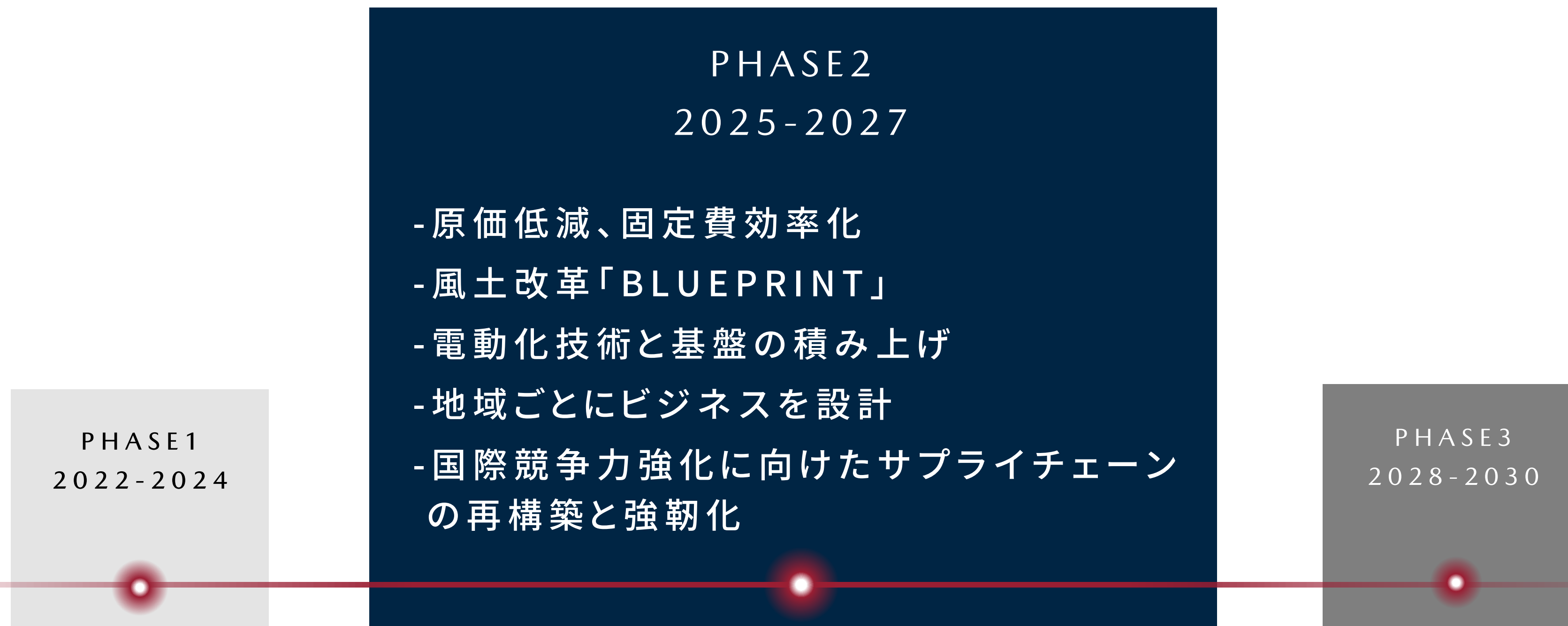
MAZDA6e



新型MAZDA CX-5

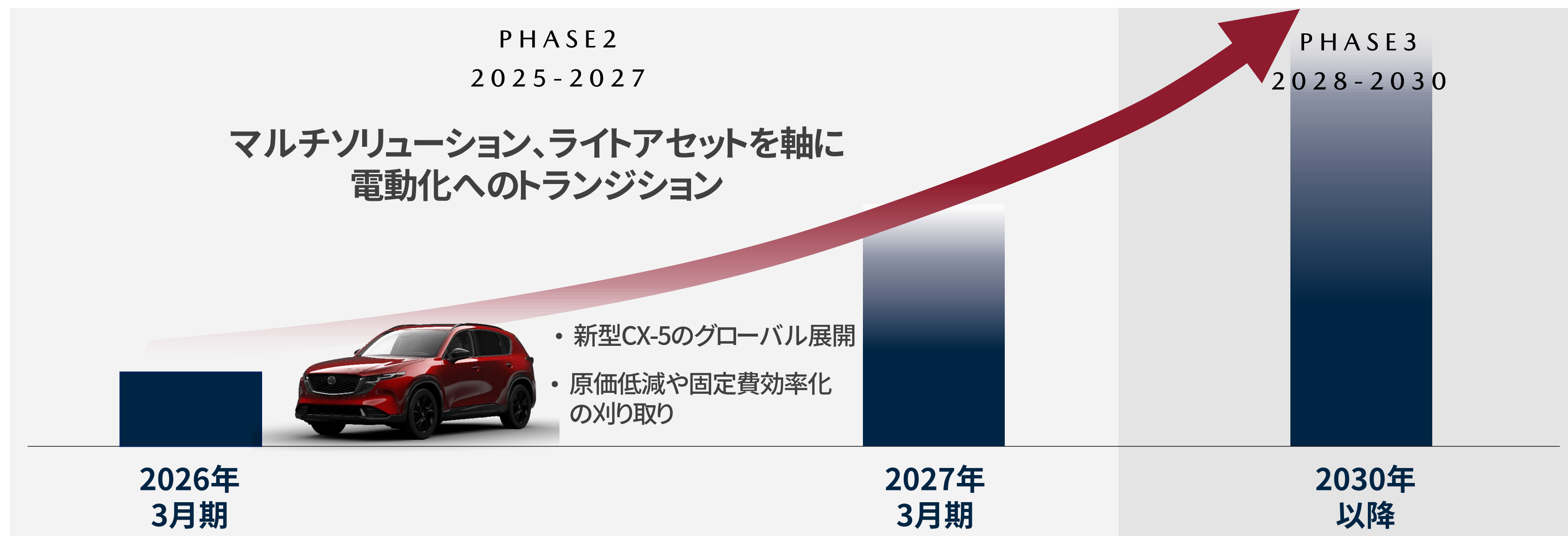
今後の展望

- 「マルチソリューション戦略」、「ライトアセット戦略」、「BEVは意志あるフォロワー」という基本方針のもと、Phase 2の取り組みを着実に進捗



今後の展望

- 2026年は、新型CX-5のグローバル展開と、積み上げてきた原価低減や固定費効率化により、段階的に収益力を改善
- 下期の反転トレンドを土台に、関税コストを跳ね返し、成長軌道へ





添付

日本

<重点取り組み>

- 国内市場の再成長に向けた構造変革を推進
- 「ブランド育成に向けた成長投資」「優先地域の特定(都市圏戦略)」「店舗体験の向上に向けた現場支援の徹底」の3つの主要取り組みを推進
- 重点市場へ新世代店舗を集中的に展開するなど販売網を再構築
- 新型CX-5の2026年春の発売に向けて、ブランド認知キャンペーン・店舗教育を通じて、販売モメンタムを底上げ

<第3四半期累計 実績>

- CX-30、MAZDA2などの量販車種の販売が前年比減少するも、CX-60、CX-5、ロードスターなどが前年比増となり、販売を下支え
- 販売シェアは前年と同水準の3.1%を維持



北米

＜重点取り組み＞

- ブランド価値経営のもと、質の高い顧客体験の提供と、販売網改革の推進で成長を図る
- 米国は、アラバマ製のCX-50、収益力の高いCX-5とラージ商品の販売に注力。新型CX-5については、米国、カナダに2026年春発売予定
- カナダ、メキシコでは、CX-30、MAZDA2、CX-5などにより堅調な販売モメンタムを維持

＜第3四半期累計 実績＞

- 米国: 対前年7%減の30万台を販売
シェアは対前年0.2pts減の2.4%
- メキシコ: 対前年2%増の8万1千台を販売
- カナダ: 対前年11%増の6万5千台を販売
第3四半期3カ月で、過去最高販売を記録*

*2000年以降



欧州

＜重点取り組み＞

- マルチソリューション戦略に基づき、電動化ラインナップ強化とバッテリーEV販売拡大を通じて、欧州の市場ニーズや各種規制にタイムリーに対応。長安汽車との協業バッテリーEV第1弾のMAZDA6eは25年秋より本格販売し月販2,000台と好調に推移
- 2026年は年初からの新型CX-5本格販売開始に続き、クロスオーバーSUV MAZDA CX-6e を夏頃導入し、商品ラインナップを順次強化

＜第3四半期累計 実績＞

- ICEモデルの販売が終了したMAZDA2とモデル切り替前の現行CX-5が前年比減となるも、MAZDA3、CX-30、CX-60、CX-80の販売は、前年比約26%増加
- また、MAZDA6eも貢献し、第3四半期3カ月では前年レベルまで回復
- シェアは対前年0.2pts減の0.9%



中国

<重点取り組み>

- 電動化への需要シフトが加速する中、長安汽車との協業新エネルギー車の第二弾、EZ-60を25年後半に成功裏に導入。マツダらしいエレガントかつモダンなスタイリング、人馬一体の走行性能に加え、中国のお客さまのニーズ・嗜好に合ったスマート機能を備えるクロスオーバーSUVで、25年9月の販売開始以降、計画を上回るペースで推移
- ライトアセット戦略のもと、長安マツダ（現地合併会社）において、欧州に続き、タイやオーストラリアなどへの仕向け拡大に向けた生産準備を推進

<第3四半期累計 実績>

- シェアは前年と同水準の0.2%を維持
- 第3四半期3カ月では前年比12%増と足元では回復基調が強まる
- 長安マツダの生産台数は新型電動車導入と輸出により前年対比30%増加



その他市場

＜重点取り組み＞

- ベトナムでの旗艦店オープン、タイでの販売網再編、インドネシアでのCX-30生産などASEAN市場での販売の質向上に向けた取り組みを推進
- AAT(タイ)での新型小型SUVの生産計画(2027年)は進捗しており、タイ市場への供給に加え日本やASEAN中心の輸出拠点としての役割も強化
- バッテリーEV MAZDA6eを2026年にタイやオーストラリアへ、MAZDA CX-6eを26年後半にオーストラリアやニュージーランドなどへ導入し、市場ニーズの変化に柔軟に対応

＜第3四半期累計 実績＞

- オーストラリア: ラージ商品で前年比約50%増加もMAZDA2やCX-3の量販車種で減少し、対前年7%減の6万7千台を販売
- ASEAN: 対前年11%減の4万5千台を販売。第3四半期3カ月ではタイ、マレーシアが前年を上回り、足元では回復基調



ベトナムの旗艦店

2026年3月期 連結出荷台数

(千台)	2025年3月期	2026年3月期	対前年増減		対11月公表増減
	通期	通期	通期		通期
連結出荷台数					
日本	136	148	+12	+9%	-3
北米	643	600	-43	-7%	-7
欧州	153	166	+13	+8%	-1
その他市場	287	258	-29	-10%	-10
合計	1,219	1,172	-46	-4%	-20
米国	447	411	-36	-8%	-7

2026年3月期 第3四半期累計 キャッシュ・フローおよびネット・キャッシュ

(億円)	2025年3月期	2026年3月期
	通期	第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	3,056	-1,717
投資キャッシュ・フロー	-2,000	259
フリー・キャッシュ・フロー	1,057	-1,458

(億円)	2025年3月期	2026年3月期	対前期末増減
	通期	第3四半期累計	
現金及び現金同等物	11,056	11,373	+317
有利子負債	7,052	8,524	+1,472
ネット・キャッシュ	4,003	2,849	-1,154
総資産	40,901	42,122	+1,221
自己資本	17,923	18,123	+200
自己資本比率	44 %	43 %	-1 pts

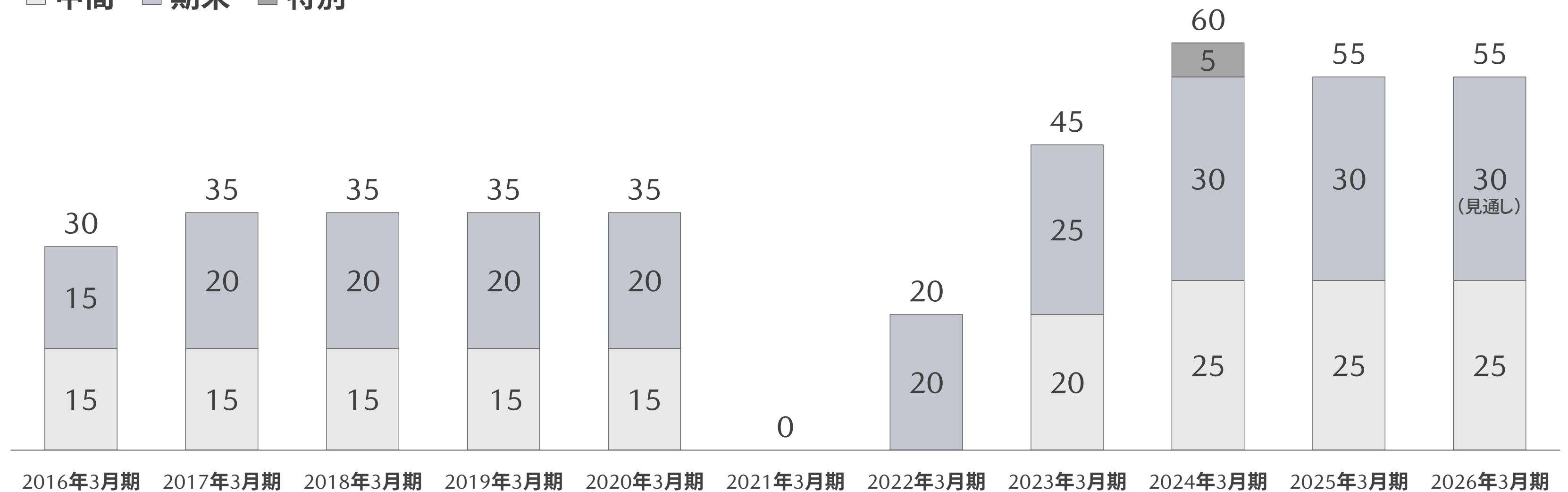
為替レート(期中平均)

(円)	2026年3月期				対前年増減				対11月公表増減
	1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期	通期
USDドル	145	147	154	150	-11	-2	+2	-2	+3
ユーロ	164	172	179	174	-4	+8	+17	+10	+3
カナダドル	104	107	111	108	-10	-3	+2	-1	+2
オーストラリアドル	93	96	101	98	-10	-4	+2	-2	+2
英ポンド	193	199	205	201	-4	+5	+10	+6	+3
タイバーツ	4.37	4.57	4.80	4.64	+0.12	+0.27	+0.31	+0.26	+0.10
メキシコペソ	7.42	7.92	8.43	8.07	-1.64	-0.01	+0.83	+0.05	+0.20

配当について

1株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。